

第11回

帝塚山学院卒業生による

音楽の玉手箱

2017

10/28 土 イズミホール

● 主催：音楽の玉手箱委員会

● 後援：学校法人帝塚山学院

／ 帝塚山学院 帝塚山同窓会

／ 「音楽の玉手箱」後援会

第 11 回 音楽の玉手箱に寄せて

帝塚山学院の卒業生による「第 11 回音楽の玉手箱」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

昨年、創立 100 周年記念事業の一つとして開催されました音楽祭や芸術展では、在校生や卒業生の創り出す数々のステージに、心震わせました。帝塚山学院が創設以来大切に守り続けてきた情操教育の豊かさを感じました。

美術・音楽などを通じて情操を養い、人間性の向上を図る教育のことを「美育」といいます。まさに帝塚山学院の「美育」がそこに確かにありました。

卒業生のみなさんが今もなお「音」を楽しんでらっしゃることが何より素晴らしいと思います。

今宵の演目を楽しみにするとともに、ご出演される皆さまの今後一層のご活躍を祈念いたします。

学校法人 帝塚山学院 理事長・学院長 野村 正朗

第 11 回「音楽の玉手箱」の開催を心よりお慶び申し上げます。

帝塚山学院は伝統的に豊かな芸術教育を行う学校として、その名を広く知られてまいりました。今でこそ、時代のニーズから多くのコースや専攻が生まれましたが、いずれの底流にも豊かな芸術教育があるということは言うまでもありません。その中でも音楽系専攻は長い歴史を持ち、学院の培ってきた芸術教育が結実した分野であり、本日は、その教育的成果が演奏会でいかに発揮されるのだと感じています。

また、中高では「コーラスコンクール」・「ふえとだある」や「芸術鑑賞」等の伝統行事を通して、生徒の情操面を育てています。舞台を心の目で「観る」、音楽を心の耳で「聴く」ことも大切にしています。多感な中高時代に本物を観て聴いて、そして自分自身でも表現し、心を動かすことは、とても大事な教育であると考えています。

本日は皆さんが奏でる音楽で、素敵な時間とともに過ごせることを喜ばしく思うと同時に、ご出演の皆さまおよび、関係者の皆さまの、今後一層のご活躍を祈念しています。

学校法人 帝塚山学院 中学校高等学校 校長 瀧山 恵

第 11 回「音楽の玉手箱」の開催を心からお慶び申し上げます。

帝塚山学院は昨年創立 100 周年を迎えました。今年新たな 101 年目を迎えるに当たって、泉ヶ丘校からも、初めて男子卒業生が参加させて頂くことになり誠に光栄なことと思います。

毎年本校の泉ヶ丘祭（文化祭 9 月）でのクラス発表会では、ピアノを弾いての合唱などもあり、男女関わりなくどのクラスにもピアノが弾ける生徒が居るのには感心させられます。若い時から、感性や音感を身につけることはとても大事なことだと思います。

今回、参加させて頂く 29 期生の横山さんも、中学・高校時代ピアノを弾くのがとても好きな生徒さんでした。そして、大阪芸大に進学され 7 月には教育実習にもこられました。

これから、このコンサートが泉ヶ丘校の卒業生が参加する場になればと思います。

当日は、演奏されるみなさんが満足のいく演奏ができることを願うとともに、私たち聞く側からしても素晴らしい演奏会になることをお祈りしております。

「音楽の玉手箱」が、今後も帝塚山学院の卒業生の活躍の場となることを願っています。

学校法人 帝塚山学院 泉ヶ丘中学高等学校 校長 登 純一郎

ごあいさつ

本日は第 11 回音楽の玉手箱コンサートにご来場いただきまして、誠にありがとうございます。第 1 回開催より約 20 年という時が流れようとしています。その間、帝塚山学院の豊かな芸術教育によって育まれた卒業生達が、いずみホールの舞台上で多くの素晴らしい演奏をお届けしてまいりました。

今夜も色とりどりの演奏で、お聴きいただいた皆さまを、ひととき素敵なお音楽の世界へお誘いすることでしょう。最後までごゆっくりとお楽しみいただければと存じます。

これからも音楽の玉手箱コンサートを通じて、人の輪、音楽の輪が広がっていくことを期待しております。

最後になりましたが、ご支援ご協力を賜りました学校法人帝塚山学院、帝塚山学院同窓会、音楽の玉手箱後援会、本公演のためにご尽力いただきました多くの皆さま方に心より感謝し御礼申し上げます。

2017 年 10 月 28 日
音楽の玉手箱委員会一同


演奏曲目


- | | | |
|--|----------------|---|
| ◇ 流浪の民
きぼうの唄 | シューマン
石若 雅弥 | 音楽の玉手箱合唱団
合唱ソロ 中尾 彩乃・伊藤 幸恵
青木 耕平 (指揮) 山田 利恵 (ピアノ) |
| ◇ 音の玉手箱
6つの小品 第2番 間奏曲 イ長調 | リヤードフ
ブラームス | 横山 琢哉 (ピアノ) |
| ◇ 春の声 | ヨハン・シュトラウス2世 | 増田 奈津美 (ソプラノ)
高橋 小牧 (ピアノ) |
| ◇ ハンガリー狂詩曲 第6番 | リスト | 塩田 真知子 (ピアノ) |
| ◇ トロンボーンとピアノのためのソナタ
「天使ガブリエリの嘆き」 | シュレック | 鶴房 采花 (トロンボーン)
安達 萌 (ピアノ) |
| ◇ ブエノスアイレスの冬
アレグロ タンガービレ | ピアソラ | 松尾 恵理
鷺北 るり子 (ピアノデュオ) |
| ◇ 休憩 ◇ | | |
| ◇ 女声合唱組曲「海は見てきた」から
巨船 | 平吉 毅州 | 帝塚山学院高等学校音楽系専攻
指揮 川上 紗季・吉岡 泰士
末永 恵介 (ピアノ) |
| ◇ 帝塚山学院創立100周年記念歌—百年樹— | 吉岡 泰士 | 百年樹アンサンブル (伴奏) |
| ◇ ピアノソナタ 第6番 作品62より
第1楽章 Allegro ma non troppo
第3楽章 Vivace | カプースチン | 土田 有純 (ピアノ) |
| ◇ オペラ「ハムレット」より
私を遊びの仲間に入れてください | トーマ | 尾田 真希子 (ソプラノ)
浪花 千裕 (ピアノ) |
| ◇ タイスの瞑想曲
真田丸 | マスネ
服部 隆之 | 蔵川 瑠美 (ヴァイオリン)
高橋 小牧 (ピアノ) |
| ◇ オペラ「ドン・カルロ」より
世の虚しさを知る神よ | ヴェルディ | 樺田 真須子 (ソプラノ)
芝 令子 (ピアノ) |
| ◇ ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より
踊り明かそう | ロウ | 樺田 真須子 (ソプラノ)
宗本 舞 (フルート)
芝 令子 (ピアノ) |

曲目解説

流浪の民 シューマン作曲

1840年ドイツ・ロマン派の作曲家ロベルト・シューマンによって作曲された歌曲「3つの詩」の第3曲目の作品で、もともとは四重唱として作られたが、合唱として演奏されることが多い。詩は、エマヌエル・ガイベルによる。ナイル川のほとりよりヨーロッパの町々をさすらうジプシーの生活の様子を歌ったものである。帝塚山学院の伝統行事であるコーラスコンクールの定番曲であり、第1回音楽の玉手箱でも演奏された。

音楽の玉手箱合唱団

きぼうの唄 石若 雅弥作曲

石若雅弥(1981年～)によって東日本大震災復興支援のために作曲された。詩は、癒詩作家と称される伊藤一樹による。「心癒される言葉」と言われている彼の言葉の優しさは、多くの人の心に沁み入っている。

音の玉手箱 リャードフ作曲

アナトリー・リャードフ(1855～1914)は、その緻密な作曲技法を駆使した小品を得意とし「音楽の細密画家」と呼ばれている。ロシア民謡を題材とした作品などにより、ロシア音楽を世に広めることに力を注いだ。「音の玉手箱」の原題は「音楽つき嗅ぎタバコ入れ」であり、ここでの音楽を意味するオルゴールの可愛らしさが描写されている。

横山 琢哉(ピアノ)

6つの小品 第2番 間奏曲 イ長調 ブラームス作曲

1892年から1893年に作曲されたブラームス最晩年の4つの曲集の1つである。4つの曲集は全20曲あるが、その内14曲がintermezzoであることより、晩年の創作意欲の薄れていた彼に最後の光を与えたintermezzoは最晩年において非常に重要なものである。この時期の作品を彼自身「苦悩の子守唄」と呼んだ。op.118-2は冒頭にあるtenderamente(愛情をもって優しく)により、まるで過ぎ去った日々を心から懐かしむように全てが語られる。

春の声 ヨハン・シュトラウス2世作曲

ヨハン・シュトラウス2世は「ワルツ王」と言われており、生涯に約500曲以上のワルツを作曲し、そのほとんどすべてが今日でも不滅の輝きを放っている。リストが、晩餐会の席で、その家の女主人とピアノを弾いて楽しんでいた時、それを聴いていたシュトラウスが、そのメロディをもとに即興的にまどめあげたのが、この「春の声」。初演当初はコロラトゥーラソプラノと管弦楽のための作品でしたが、今では管弦楽だけでもよく演奏されます。流麗な旋律美とから待ちに待った明るい春がやってきた喜びが感じられる、明るい華やかな作品。

増田 奈津美(ソプラノ)

～ 訳詞 ～

ヒバリは青空高く舞い上がり
凍っていた風もこんなに暖かくなった
その喜びあふれる優しいあたたかい吐息が
野に牧場にくちづけをし よみがえらせる
美しく着飾った春が目覚めると
ああ すべてつらいことは終わるでしょう
あらゆる悩みも 遠くへ去ってゆくわ！
痛みはやわらいで 希望があふれ
幸せを信じる気持ちがかえってくる
太陽の光が差し込んできて
ああ みんなほほえみ ああ そして目覚めるの！
長いこと黙っていた歌の泉も
ふたたび噴き上げはじめ
木々の間からも輝かしい
清らかでやさしい歌声が響いてくるわ！
ああ ナイチンゲールがそっと
もう初めての歌を聴かせてくれるのね
この女王様をじゃましないように
黙っていてね 他の歌い手さんたちはみんな！
ああ すぐに彼女の歌はもっとうまく、やさしくなるから
ああ すぐに ああ すぐに！
ああ ああ ああ ああ！
ああ ナイチンゲールの歌 甘い調べ ああ そうよ！
愛に燃え立ち ああ ああ ああ

歌は鳴り響く ああ そしてその歌は
甘く心地よく でも悲しげにも聴こえる
ああ ああ 素敵な夢で心を揺り動かすの
ああ ああ ああ ああ とても優しく！
あこがれと願いを
ああ ああ ああ この胸に抱いて
ああ この歌が私に呼びかける
星たちのように速くから瞬きながら
ああ ああ 月の光のようなきらめく魔法で
ああ ああ ああ 谷間を渡っていく！
夜の静寂が消えるとすぐに
ヒバリの歌声がさわやかに目覚める
ああ ヒバリは光を告げるの
暗闇は消え去ると！ああ！
ヒバリは青空高く舞い上がり
凍っていた風もこんなに暖かくなった
その喜びあふれる優しいあたたかい吐息が
野に牧場にくちづけをし よみがえらせる
美しく着飾った春が目覚めると
ああ すべてつらいことは終わるでしょう
あらゆる悩みも 遠くへ去ってゆくわ！
ああ 春の声はなつかしく響く
ああ そうよ ああ そうよ ああ すてきな響き
ああ ああ ああ ああ ああ そうよ！

ハンガリー狂詩曲 第6番 リスト作曲

塩田 真知子 (ピアノ)

ハンガリー狂詩曲集は、全19曲あり、リストが1839年と1846年にハンガリーを訪問したことがきっかけで作られ、ハンガリーの土着民謡などを、緩急のはっきりした音楽で表現するジプシーたちの演奏スタイルをこの狂詩曲集の中に反映させている。第6番は、堂々とした導入部分に続き、軽快な主題が極めて速いテンポで提示される。中間部はゆったりとした哀愁あふれるメロディに細かい装飾やフェルマータの多用によって拍節感を曖昧にしており、後半はオクターヴ奏法によって華々しく楽曲が閉じられる。

トロンボーンとピアノのためのソナタ「天使ガブリエリの嘆き」 シュレック作曲 鶴房 采花 (トロンボーン)

スチュバン・シュレック (1914-1986) は旧ユーゴスラビアの作曲家、指揮者、ヴァイオリン奏者である。この作品は国際トロンボーン協会の依頼によって、1973年に書かれた。ピアノは優美に流れ、トロンボーンはロマンティックに、時には怒りのように語る。トロンボーンは、人の声が一番近いと言われた楽器と言われていたため、天使ガブリエリの声と重ねたのかもしれない。この作品はトロンボーン奏者の中で重要な1曲である。

ブエノスアイレスの冬/アレグロ タンガービレ ピアソラ作曲 松尾 恵理 鷺北 りり子 (ピアノデュオ)

ピアソラ (1921-1992) はアルゼンチンタンゴの前衛派として活躍し、「ブエノスアイレスの四季」を「夏秋冬春」の順に作曲した。「冬春」はフィギュアスケートで用いられるなどして、「リベルタンゴ」と並んでよく知られている。「アレグロ タンガービレ」は「夏」の後に作曲された歌劇のインストゥルメンタルの中の1曲である。2曲とも神戸女学院卒業生で国内外で高い評価を得ている山本京子さんの編曲版を使用している。

女声合唱組曲「海は見てきた」から「巨船」 安浪 雄嗣 詞 平吉 毅州 曲 帝塚山学院高等学校音楽系専攻

大きな一隻の船にはどんな人が乗っているのか。詩に目を向けると、人類が「未知のもの」に対して抱く憧憬がかわいらしい子どもたちの動きから読み取ることができる。疾走感のある詩がそのまま音になり、テンポの変化を繰り返しながら駆け抜けていく。おもわず走り出したくなるような気持になる一方で、一変して「巨船」への深い畏敬の念を音楽が素朴に語りかけてくる。美しくかつ歌いやすく作曲されており、ピアノもやさしく書かれている。抒情的であると同時に、軽さや明るさを兼ね備えた作品である。

帝塚山学院創立100周年記念歌—百年樹— 2016年度高校3年生・教員 詞 吉岡 泰士 曲

百周年記念歌「百年樹」は、「学院創立百周年を高校3年生で迎えながら記念の舞台に上がれない生徒達に何らかの形で関わってもらいたい」という音楽科の提案で、高3生徒から募集した言葉を土台にして歌詞を作り上げる事になりました。1番の歌詞は、学院が作られた当初から大事にされてきた「想い」の中で育ち、巣立っていった卒業生達と学院の事を、2番の歌詞は、その「想い」や卒業生達が創り上げた「伝統」が生きている学院で過ごし、それらを受け継いでいる生徒と学院の事を表現し、学院はこれからも関わった人みんなを見守り続けたい、という意味が込められています。(吉岡 泰士)

～ 歌詞 ～

百年前に 小さな種が この地と出逢い 希望の芽を出した
百年の間 たくさんの想いが 受け継がれて
今 大きな樹になった

多くの鳥たちが 枝に集まり (夢を語らい)
輝く未来へ 羽ばたき始める
迷った時には 羽を休めて (空を見上げよう)
再びはるかな 空へ飛び立ってゆく

*いつまでも 光がそそぐように
いつまでも 風がささやくように
ずっと変わらず 見守り続けよう
ここから空へ 未来へ はばたけ

帝塚山に 咲き誇る花は 可憐な香りを 未来へとつなぐ
帝塚山の やさしい梢は 木漏れ日の中に 花たちを抱く

その胸の中に あたため続ける (ほほえみたたえ)
先人の優しさ 受け止めながら
幾重なるところが 織りなす歴史を (光の中で)
今また新たに 未来へ紡いでゆこう

*いつまでも 光がそそぐように
いつまでも 風がささやくように
ずっと変わらず 見守り続けよう
ここから空へ 未来へ はばたけ

ピアノソナタ 第6番 作品62より 第1楽章 第3楽章 カプースチン作曲 土田 有純 (ピアノ)

今年で80歳を迎えるウクライナの作曲家、カプースチンによって1991年に作曲されたこのソナタは、宝石が散りばめられたような輝きを持つ1楽章、ノスタルジックな2楽章、エネルギーでフィナーレにふさわしい3楽章からなる作品であり、クラシックの形式を用いながらも、まるでジャズの即興演奏であるかのような軽妙なリズムとユーモア溢れる音使いを織り交ぜた、彼の個性が存分に発揮された名曲です。今夜は第1楽章・第3楽章をお聴きください。

オペラ「ハムレット」より“私を遊びの仲間に入れてください” トーマ作曲 尾田真希子(ソプラノ)

ハムレットはアンブローズ・トーマが作曲した全5幕のオペラ。シェイクスピアの悲劇「ハムレット」を基にしたオペラです。オフェリアは、デンマーク王に使える宰相の娘、王子ハムレットの恋人として、人々から祝福されていましたが、ハムレットに棄てられてしまいます。愛するハムレットの発狂を事実と信じて、希望を失い狂気に陥ります。ある日、彼女は歌いながら小川に落ち、水の深みに身を取られ、溺れて死んでいく、その有名なシーンで歌われるアリアです。

皆さんのお楽しみに、どうぞ私も加えてください。
誰も私の跡をつけては来なかったわ
最初の明かりが灯った時に、私は宮殿をあとにしたの

夜の涙で大地は濡れていた
そして、ひばりが夜の明けの前に天空を飛んでいたわ、ああ！
でも、あなたがた、どうして小声で囁くの？
私がわからないの？ハムレットは私の夫、私はオフェリアよ！

あの方がまことを裏切ったら、
私は気が狂ってしまうわ！

私の花を分けてあげましょう！
あなたには、野辺に咲くローズマリーのこのつつましい枝。
ああ！あなたには、このツルニチコウ草を。ああ！

さあ、私の歌を聴いて！
深い水の底、音さめて、ブロンド髪の
炎のひとみのウィリイ嬢は眠る！
神様お守りください
青い湖のほとり、夜に遅れて来た者を！
夫の腕に抱かれたしあわせな妻を！
私は死ねてしまう、あんなにも優しい幸せを！
炎のひとみの妖精、
あわれ！あなたは眠る、青い湖の水の底で！
ああ！ああ！ああ！そこ、そこに！

ああ！愛しい夫よ！ああ！愛しい恋人よ！
ああ！快い告白！ああ！優しい誓い！最高のしあわせ！
ああ！むごいかな、私の彼を見ている！
ああ！あなたゆえに、私は死にます！ああ！私は死にます

タイスの瞑想曲 マスネ作曲 歳川 瑠美(ヴァイオリン)

フランスの作曲家マスネが作曲したオペラ「タイス」の間奏曲・享樂的な生活を送る美しい遊女タイスはアレクサンドリアの町を退廃に導いているとささやかれていました。修道僧アタナエルは「説得と祈り」で彼女を回心へと導きこうとします。自身の人生に虚しさを感じていたタイスは信仰を受け入れようと心を動かす場面で流される曲です。

真田丸 服部隆之作曲

2016年大河ドラマ「真田丸」のテーマソングとして人気を集めた曲です。

オペラ「ドン・カルロ」より“世の虚しさを知る神よ” ヴェルディ作曲 榊田真須子(ソプラノ)

16世紀後半のスペインにて、王子ドン・カルロと愛し合い、婚約をしていたフランス王女エリザベッタ。しかし彼女は政略によりドン・カルロの父である王フィリップ二世と結婚させられてしまう。カルロへの秘めた愛と、彼女を取り巻く状況の中で苦しむエリザベッタは第四幕「世の虚しさを知る神」を歌う。永遠の愛を誓い合った幸福な日々へ想いを馳せるが、彼を愛するが故、彼のこれからの人生を考え、カルロへの想いを諦め、「私の願いは墓の中の安らぎ」と締め括る。

世の虚しさを知るあなた様、
今は安らかに眠っておられるけれど
天上でもまだ泣くことができないなら
私の苦しみのために泣きださない
そしてこの涙を主の御許へお運びください

カルロは来るでしょう、でも、彼を立ち去らせ、
そして私を忘れさせておくれは、
彼の将来を見守ると誓いました。
彼の天命は栄光の座へと向かっています。
けれど私の人生には既に黄昏が訪れています。

フランス、フォンテンブローで私達は永遠の愛を誓い、神も聞き届けてくださったのに、
その永遠も一日で終わってしまった
イベリアの地の愛らしい庭、いつか彼が再び現れたなら、
小川も花も泉もどうか私たちの愛を歌ってほしい

さようなら、金色の美しい夢。絆は引き裂かれ光は闇となった。
激しい苦悩の果てにこの心が望むものはただ一つ、墓の中での安らぎだけ。

ミュージカル「マイ・フェア・レディ」より“踊り明かそう” ロウ作曲 榊田真須子(ソプラノ) 宗本舞(フルート)

「マイ・フェア・レディ」は1956年にブロードウェイで初演されて以来、ミュージカルの傑作と称えられている。その代表曲が“踊り明かそう”である。言語学者であるピギンズ教授が、裏町で暮らす貧しい娘イライザに上流階級の話し方を何ヶ月もかけて教える。ようやく美しい発音で話せるようになった彼女は、興奮のあまり寝付けず、その喜びを歌いあげる。

ベッド！ベッドですって！眠ってなんてられない！
頭が冴えすぎて落ち着くなんて無理なの！
眠る！眠りなさいですって！今夜は寝付けそうにないわ！
この冠の宝石全部をもらってこんな風にはならないもの

一晩中だっって踊れたわ、一晩中踊り明かせたはずだわ
今だっってさらにそれ以上をお願いしちゃうの
翼を広げることすらできたかもね

そしてこれまでやった事のない 1000もの事ができたはず
決して知りえないでしょうね
何がこれほど興奮させるのかなんて
どうして全くの突然に、私の心は飛び始めたのか
分かるのはただ、彼とダンスを始めた時 私は踊れた
踊る、踊る
一晩中踊り明かせたわ！

音楽の玉手箱合唱団

音楽の玉手箱演奏会開催時に結成される、主に帝塚山学院の卒業生で構成された合唱団で、『メンズコーラスまつぼっくり』『ウィメンズコーラスまつぼっくり』そして音楽の玉手箱演奏会のみに参加されるメンバーで構成されている。親子二代、兄弟、姉妹での参加もあり、いかにも学院らしい暖かいグループである。

女声

ソプラノ ソロ：中尾 彩乃

池原 加陽子・大野 真理子・北橋 山美・寒川 奈津子・樽本 裕子・東藤 真里・友廣 公子・森田 扶美子・森本 知英子・伊井 遊子・北原 靖子・戸田 佳鶴子・守本 歌子・吉田 順子

アルト ソロ：伊藤 幸恵

大野 裕子・大友 弘子・尾崎 嘉代子・倉田 裕子・高濱 寿美子・古内 恵子・松尾 恵理・吉田 喜美子・井口 真由美・上戸 真理・重野 浩子・祐成 佳代・巽 重耶子・田中 有子・鳥井 真理・南條 真知子
藤本 勝子・堀 良子・吉岡 明美・吉田 久美子

男声

テノール

有田 太郎・有田 三郎・北平 省三・田原 伸之・田原 泰昌・南里 貫太郎・門田 吉民・山根 祥行

バリトン

柏原 紀美・酒井 巖・忠田 圭史・三木 二良

バス

朝倉 治雄・池上 透・小西 研一・末吉 建治・高田 知彦・津村 寛二

帝塚山学院高等学校 ヴェルジェコース：クラシック音楽専攻／ポピュラー音楽・ミュージカル専攻

高等部では60年余りにわたり音楽大学への進学指導を行ってきた。平成22年のコース改変に伴い『ヴェルジェコース音楽系専攻』とし、「クラシック音楽専攻」と「ポピュラー音楽・ミュージカル専攻」の2専攻体制で、時代のニーズを先取りするプレイヤーの育成に取り組んでいる。

ソプラノ

3年生 田中 優梨恵・古性 真央・渡邊 愛子・米谷 有里紗

2年生 古田 明美奈・防野 莉安・和田 美洋

1年生 石田 天・折坂 心春・吉田 梨乃・沖田 莉子・釜ヶ谷 佳乃

メゾ・ソプラノ

3年生 辻村 薫音・藤原 由惟・北岡 由麻・山本 紫花

2年生 林 美結・齊藤 沙耶佳・池田 百音・山田 望結

1年生 藤本 凜乃・木下 桜華・寺本 光希・村田 志衣・辻 愛子・岡崎 碧希・大橋 香夏絵・吉川 真未

アルト

3年生 上山 杏奈・三宮 奈々・松塚 千裕・古宮 星七・山田 奈於・横山 愛・熊谷 紫子

2年生 小山 怜子・中尾 百・細川 小桃・柏原 美結・兎玉 ひな・端 智里

1年生 福留 あぐり・武藤 さくら・有賀 舞山良・花野 安優・中川 夏海・濱口 理子・西川 舞耶・中尾 優里・神河 加奈子

百年樹アンサンブルメンバー (3年生)

フルート 古宮 星七・高橋 七星

ヴァイオリン 熊谷 紫子・西原 万智・眞野 晶恵・毛利 菜々子・川内 理瑠・吉田 真侑